

2015年度 日本農業経済学会 第1回理事会 議事録

日時 : 2016年3月28日(月) 18:00~19:30

会場 : 秋田県立大学(秋田キャンパス) 共通施設棟2階 A212号室

出席者(30): (敬称略)

会長・副会長(5) 生源寺(会長), 福井(学会誌・副会長), 玉(学会賞・国内学術交流・副会長), 米倉(国際交流・副会長), 中嶋副会長(企画・副会長)

役付常務理事(14) 櫻井清一(庶務), 神代(庶務), 松下(財務), 立川(和文誌編集), 櫻井武司(英文誌編集), 福興(学会賞・国内学術交流), 不破(国際交流), 能美(企画), 梅津(情報), 鶴川(開催校), 森田(東北), 木南(北陸), 三田村(近畿), 保永(中国)

理事(11) 近藤(北海道), 中村(東北), 大栗・鬼木・菊地・北原・作山・松久・吉田央・吉田義明(関東), 松井(中部)

オブザーバー(3) : 首藤(次期庶務), 草苺(会長特別補佐として), 農林統計協会・武石参与(事務局)

欠席者(12名のうち、委任状提出者6名に下線):

岡田(北海道常務), 荒井(中部常務), 中道(四国常務), 矢部(九州常務), 尾崎・志賀(北海道), 高柳(関東)、桂・金子(近畿)、小林(北陸), 黒木(中国), 豊(九州)

開会

- ・ 開催要件(構成員42名の過半数22人の出席をもって成立)を満たしていることを確認の上、開会した。

1. 会長挨拶・議長選出

- ・ 開会にあたり生源寺会長より簡単な挨拶があった後、慣例により会長を議長として選出した。

2. 報告・審議

(1) 理事会の進め方の確認

- ・ 理事会での決定が必要なものについては、「2. 報告・審議」で、総会でも議決承認が必要な事項については「3. 審議」で進めることを確認。
- ・ 各担当より「総会次第」に基づき、報告がなされた(詳細は「総会次第」を参照)
- ・ 中嶋改革担当副会長より、今回の会則・規程・細則の改正の全体に係る、組織体制の再編の目的と全体像について、説明があった。

(2) 企画委員会報告

- ・ 中嶋副会長より、2016年度大会の準備状況が報告された。

(3) 編集委員会報告

- ・ 福井副会長、立川理事(和文誌)、櫻井武理事(英文誌)より、学会誌編集に関する報告があった。
- ・ 編集委員を一部交代する。

- ・ 英文誌や研究の国際化を目指し、①英文誌名変更（『The Japanese Journal of Rural Economics（J J R E）』→『Japanese Journal of Agricultural Economics（J J A E）』）、②現在、大会で実施されている日韓シンポジウムを、韓国に限らない国際シンポジウムとし、そこでの報告を『J J A E（J J R E）』に掲載。関連して、会則・規程・細則の条文の見直しと改正を行う。

（4）情報化委員会報告

- ・ 梅津理事より、J-STAGE への会誌の掲載状況と、学会 HP 上でのバナー作成についての報告があった。

（5）国際交流委員会報告

- ・ 米倉副会長より、①国際農業経済学会（IAAE）、②アジア農業経済学会、③国際誌掲載支援のための特別企画についての報告があった。

（6）学会賞・国内学術交流担当報告

- ・ 福与理事より、農業経済学関連学会協議会、日本経済学連合、日本農学会についての報告があった

（7）財務担当報告

- ・ 松下理事より、2016 年度の財務担当常務理事の 2 人体制、会費納入向上対策について報告があった。

（8）庶務担当報告

- ・ 櫻井清理事より、2015 年度の主な会議開催状況、会員数の動向、庶務担当常務理事の交代についての報告があった。

（9）改革担当

- ・ 生源寺会長より、会則・規程・細則に関して、①今回の改正のために、理事会での決定や承認が必要な規程・細則が極めて多いこと、②また相互に関連する項目が多く複雑であること、③そのため改正の背景・目的と条文改正のポイントを全体的に説明したのち、まとめて質疑しその上で問題がなければ、全体をまとめて承認してほしいとの説明があった。また今回の改革や規程・細則の改正に当たっては、草苺会員（会長特別補佐）の助言や協力を得ていることも合わせて報告された。
- ・ 中嶋副会長より、今回の改正の背景・目的と、条文改正のポイントについて、説明がなされた。全体をまとめた質疑がなされた後に、規程・細則の改正は承認された。
- ・ 理事会で、役員選出に関する細則の改正を議決した。
- ・ 理事会で、役員業務等に関する細則、国際（交流）委員会規程、企画委員会規程、学会賞表彰規程、学会賞表彰規定細則、ポスター賞表彰規程（廃止）、ポスター賞表彰規定細則、の 7 つの改正を決定した。
- ・ 理事会で、編集委員会規程、情報化委員会規程、『農業経済研究』投稿規程、『JJAE（JJRE）』投稿規程の 4 つの改正を承認した。
- ・ 総会では、5 つの改正の承認（役員選出に関する細則、編集委員会規程、学会賞表彰規程、『農業経済研究』投稿規程、『JJAE（JJRE）』投稿規程）と、3 つの改正の報告（国際（交流）委員会規程、企画委員会規程、情報化委員会規程）が必要になる。

（10）その他

① 名誉会員の推薦について

- ・ 櫻井清理事より、会則第 4 条に基づき、齋藤修会員と米倉等会員を名誉会員として推薦するとの提案があり、承認された。

② 2017 年度大会の開催について

- ・ 櫻井清理事より、2017年度大会は千葉大学が開催校となることが報告された。
- ・ 開催予定日は3月下旬である。詳細は確定次第、会誌やHPで案内する。

3. 審議（総会でも審議を要する事項）

（1）2015年度決算（案）

（2）2015年度決算の監査報告

- ・ 財務担当・松下理事より、資料に基づき、2015年度決算案について説明があった。
- ・ 会計監査が3月4日に実施され、木島・北川両監事より、会計処理は適正であるとの監査報告があったことも報告された。
- ・ 同案は承認され、総会に諮ることとなった。

（3）会則等の改正

- ・ 神代理事（庶務担当）より、会則などの改正案の説明があった。今回の改正の要点は以下の4点である。①役職・業務の変更・見直し、②英文誌の誌名変更、③国際シンポジウム（日韓シンポ等）の大会報告を英文誌（JJRE）に掲載、④他の規程との対応関係の明確化など
- ・ 原案どおり承認され、総会に諮ることとなった。

（4）2016年度予算（案）

- ・ 財務担当の松下理事より、資料に基づき、2016年度予算案について説明があった。
- ・ 原案どおり承認され、総会に諮ることとなった。

（5）次期理事・監事の選任

- ・ 櫻井清理事より、2016年度からの理事・幹事候補者一覧が報告された。
- ・ 原案通り承認され、総会に諮ることになった。

4. 学会賞について

（1）学術賞・奨励賞

- ・ 玉副会長より、学術賞および奨励賞の選考経過について説明があった。
- ・ 学術賞として、京都大学大学院農学研究科所属の浅見淳之氏の『農村の新制度経済学 アジアと日本』（日本評論社、2015年3月、和文、344ページ）が、奨励賞として、首都大学東京都市教養学部所属の李海訓氏の『中国東北における稲作農業の展開過程』（御茶の水書房、2015年9月、和文、346ページ）が選考委員会から選ばれたことが報告され、理事会でも承認された。

（2）学会誌賞

- ・ 福井副会長より、学会誌賞の選考経過について説明があった。
- ・ 学会誌賞として、大阪経済大学経済学部所属の藤本高志氏の「離島経済の地域所得決定要因の定量分析 - 地域産業連関表の推計と適用」（『農業経済研究』第86巻第4号）が選考委員会から選ばれたことが報告され、理事会でも承認された。

閉会

文責 神代（2016/4/11）